

CVG 2017

2017学生によるビジネスプラン提案コンテスト

ビジネス部門



代表の河野さん

山口県立大学 河野 ゆりさん... 横浜国立大学 岩野 沙耶さん... 「サイクル県やまぐち」は2016年に始まったプロジェクトで、あ近を観光することに... 自転車を利用すれば短時間で効率的に観光で県を目指している。このとき、楽しんでもらえるプロジェクトの成果を知り、実際に利用、調査してみたい。さまざまな課題を、このプランを考え、このプランを考えた。放置自転車を利用したドの整備を進めている。下関市でも整備が進み、駅から離れた観光地も訪れやすくなった。放置自転車に着目したのは、大学で毎年処分している自転車がたくさんあるため。山口県付近でも毎年1000台以上を処分し、

中国经济連合会会長賞

中国経済連合会会長賞... 優位性は自転車の配送と独自マップにある。自転車はクルーズ船の停泊地に一括配送し、貸し出し・返却できるようにする。案内マップは、サイクリングコースやお店、駐輪場、歴史スポットなどを載せたさまざまなものを多言語で作成する。クルーズ船の寄港は年々増加しており、17年度は昨年度の2倍の79隻にのぼっている。経済効果は10億円を超えるという。山口県の観光客数は減少傾向にあるが、レンタサイクルで新しい客層を取り込みたい。いずれはサイクルロードが整備されたほかの地域にも広げ、県全体の活性化を図ってサイクル県やまぐちの認知度を高めたい。



代表の安森さん

広島商船高等専門学校 安森 琢真さん 中川 麻美さん 泉 瑞希さん 平尾 光さん... 私たちは、音楽でリラックしたり、季節の変化を感じたりと大きな影響を受けている。そんな音楽を作ることに着目し、「メロディー☆アート」案を流す「スケッチャー」と名付けたこの装置を開発した。幼少期の新たな音楽教育や、高齢者の認知症予防、改善にもつなぐと期待している。

メロディー☆アート

中国经济連合会会長賞

子どもと高齢者向けに二つの大きな市場がある。全国に2万5000力以上の保育所があるが、待機児童ゼロに向けてさらに増える。2020年からの小学校でのプログラミング教育開始によってもニーズが高まる。高齢者施設に対しても、誰でも扱える装置であることから、職員の手軽な対応が必要。販売とレンタルの2方式での提供を考えている。子ども向けのクリエイティブティとモチベーション向上、そして高齢者の認知症予防、改善に、旋風と革新を巻き起こしていきたい。

最優秀賞

2件

知っちゃう？ サイクル県やまぐち 〓 レンタサイクル×放置自転車〓 エコサイクル

山口県立大学... 河野 ゆりさん... 横浜国立大学... 岩野 沙耶さん...

優秀賞

3件

エネルギー中国電力賞

代表の栗栖さん



代表の栗栖さん

道路バイクという自転車を存続させる。通常の自転車の2倍の速度が出る、健康増進の面からも人気が出てきている。豊富なパーツがそろっている。自分好みの一台に仕上げることができる。広島県でもしまなみ海道にも問題点が指摘されている。それはスピードの出る。それはスピードの出た検出する。三つ目が危険通知。ハンドルが振動... 過度な速度を超過する危険がある。速度超過検出システム。Ostrich☆iーロードバイク用危険検出システム。道路バイクに乗るために危険かどうかの判断の処理をスマホで行う。スピード検出システム。道路バイクの速度が設定速度を超過すると検出する。三つ目が危険通知。ハンドルが振動... 過度な速度を超過する危険がある。速度超過検出システム。Ostrich☆iーロードバイク用危険検出システム。

テクノロジー部門

広島ガス賞

代表の北村さん



代表の北村さん

経済産業省の未踏クリエーターにも選ばれた。今の学校制度は何でも全部の教科が等しく育てる人、言われたことをやる人、言われたことをやる人、言われたことをやる人。時代の求めるものが変わってきている。新しい評価指標や学校が必要だと考え、脱学校化をビジョンとして教えることで学ぶプラットフォームという世界を作り出したい。このプラットフォームは、子供たちが好きな分野を究めて生きていく世界を作り出したい。『育成ゲーム』と「概念マップ」による授業をオンラインで提供する。キャラクターがプレゼンテーションを行う。授業に行くついでにサイバー拠点を持つことで物を持っていく必要がなくなり、物流問題を解消できる。またサイバー市場は信頼性が重要。シェアリングは大学にとってサイバーを推進することで従来のコミュニケーションをより活用し、より利用しやすい環境が提供できる。決済時などに第三者を介する方式のため、対面取引に不安を感じる人も安心安全に取引できる。どのサービスよりも大學生に近い存在として大學生の雇用にも貢献できる。物流業や派遣業などへの横展開も考えられる。

ビジネス部門

ツネイシキャピタルパートナーズ賞



代表の足立真一さん

学生用品シェアリング スマホアプリ『シェアアレー』

手軽で気軽にシェアしよう！をコンセプトにした学生用品のシェアリングアプリ。シェアアレーは、近にある物を使ってもらう。シェアアレーでマッチングし、後は店舗に取りに来てもらう流れ。大学の専売店などで提供することで、アマゾンやメルカリにも太刀打ちできる。大學生の動線上に店舗を持つことで物を動かす必要がなくなり、物流問題を解消できる。またサイバー市場は信頼性が重要。シェアリングは大学にとってサイバーを推進することで従来のコミュニケーションをより活用し、より利用しやすい環境が提供できる。決済時などに第三者を介する方式のため、対面取引に不安を感じる人も安心安全に取引できる。どのサービスよりも大學生に近い存在として大學生の雇用にも貢献できる。物流業や派遣業などへの横展開も考えられる。

ビジネス部門

Think big! Step forward!

日本のテクノロジーを世界へ。ともに歩むパートナーとして。

TSUNEISHI CAPITAL PARTNERS

30年後の世代や地域に責任を果たす企業集団として、ツネイシキャピタルパートナーズは30年後にも価値創出と社会貢献が期待できる事業に投資と支援を行います。

ツネイシキャピタルパートナーズ株式会社

〒720-0313 広島県福山市沼隈町常石1083

TEL.084-987-3553 FAX.084-987-5078

www.tsuneishi-cp.com

